

福島女王の貫禄



わかやま国体

【成年女子1000m決勝】福島千里(手前)は2位の土井杏南らに大差をつけて6連覇を達成した



成年女子1000m決勝で圧勝した福島千里は、両手の指で「6」連覇を示して笑顔を見せた

【和歌山】紀の国わかやま国体は3日、15競技を行った。和歌山市の紀三井寺陸上競技場で行われた陸上は、成年女子1000m決勝で福島千里(道ハイテクA)が11秒39で2位以下に大差をつけて圧勝し、6連覇を達成した。田辺市の田辺スポーツパーク野球場で行われた軟式野球成年男子は、前回3位の六花亭が2回戦で愛知(フタハ産業)に3-1で勝利して8強入りしたが、準々決勝では健闘及ばず埼玉(バイオテック)に0-3で敗れ、5-8位決定戦に回った。(岡部彰広)

リオへ決意「恩返しを」

福島

福島千里がタイムを自己の持つ日本記録に0.18秒届かなかったが、2位の土井杏南(埼玉・大東大)に0秒30の大差をつけて貫禄勝ち。6年連続の優勝を果たし、観客席に笑顔振りまいた。

今季は8月の世界陸上2000mで予選敗退、1000mでは準決勝で敗退した。何が足りないかと思案中、今季最後の個人種目は気合イバルを寄せ付けなかった。

「1日に3本走ることが入っていた。やっぱり北海道代表が出るのは特別なもの。6連覇は道代表だからできたことなのかなと思います」

来季は3大会連続となる五輪出場を目指す。ブラジル・リオデジャネイロ五輪に向けて「私には挑戦しようと思わせてくれる味方がたくさんいる。その人たちに恩返しするために結果を残したい。継続するものは継続し、省くものは省く。多くのことをやらずに練習の質を上げていきたい」と決意を語った。オフシーズンでの取り組みが飛躍のポイントとなりそうだ。

秒62(向かい風1.3m/s)
▽同準決勝2組①福島千里11秒38(無風)
▽同決勝①福島千里11秒39(追い風0.3m/s)

【関係分】
◇陸上▽成年女子1000m予選3組①福島千里(道ハイテクA)帯南商高出11